

第4章 警察活動の支え

6 海外からの支援部隊

支援部隊の受入れ

本震災では、発生以降、海外から多くの支援部隊が派遣されました。

警察庁では、このうち、韓国、シンガポール、メキシコ、台湾、ロシア、フランス、モンゴル、南アフリカ、トルコ及びインドの**合計 10 カ国・577人**の支援部隊の受入れに対応し、被災県警察では、これら支援部隊と協力して捜索活動を行いました。

国名	活動期間	派遣人員	主な活動場所	国名	活動期間	派遣人員	主な活動場所
韓国	3月12日～23日	107名等	宮城県仙台市	ロシア	3月16日～18日	第1陣75名 第2陣81名	宮城県石巻市
シンガポール	3月13日～15日	5名等	福島県相馬市	モンゴル	3月17日～19日	12名	宮城県名取市
メキシコ	3月15日～17日	12名等	宮城県名取市	トルコ	3月20日～4月8日	32名	宮城県多賀城市
フランス	3月16日～23日	134名	宮城県名取市	南アフリカ	3月19日～25日	45名	宮城県岩沼市
台湾	3月16日～18日	28名	宮城県名取市	インド	3月29日～4月6日	46名	宮城県女川町

警察が受け入れた海外支援部隊



南アフリカからの支援部隊 (宮城県名取市)



インドからの支援部隊 (宮城県女川町)

事例 ～海外の治安機関関係者からの言葉～

警察には、常日頃交流のある海外の治安機関関係者からも多くの言葉が寄せられました。「津波が迫り人々が高台へと避難する中、亡くなった警察官は逃げ遅れた人々を助けるために逆に下へ下へと降りていかなければならなかったのでしょうか。そうした彼らの行為は警察官としての宿命であり、彼らの勇気と行動は世界のいかなる地域の警察官であったとしても、皆が共感するものであります。国は違えど同じく平和を守るために生きた彼らのことを我々は同じ仲間、兄弟のように思っています。」

ある関係者は、以上のように述べ、警察の担当者に香典を手渡しました。